



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

1. 木産協事務局新体制!!
2. 県職員人事異動!!
3. 県産木材利用に向け協定
4. 木の国やまがたの魅力発信
5. 木産協：第3回理事会開催
6. 緑の募金に協力を
7. 令和5年度県住宅支援制度情報



1 木産協事務局新体制

4月1日付けで、主査として土方孝宮氏（元村山総合支庁森林整備課長）が着任しました。氏は上山市在住で、村山総合支庁のほか置賜総合支庁森林整備課長や県庁木材振興などを担当された実力者です。ご存じの方も多と思います。木産協と利用センターの業務全般を担当します。

また、JAS検査担当の高橋幹夫氏が退任し、代わりに高橋新也が新たにJAS検査業務を担当します。令和5年度のJAS担当は鈴木健治、横山修と併せ検査員三人体制となります。

2 県職員人事異動!!

3月20日恒例の県職員人事異動が内示されましたので関係者を紹介します。本庁では、農林水産部長 地主徹（留任）、農林水産部次長 齋藤邦仁（専門職大学整備推進課長）、技術戦略監兼次長 中野憲司（農業技術環境課長）、参事（専門職大学整備担当）小沢互（山形大学農学部）、森林ノミクス推進課長 福井克（留任）、森林活用推進主幹 小畑義一（留任）、森林経営・再造林推進主幹 笠井俊哉（留任）、森林保全主幹 佐藤典生、森林研究研修センター所長 横倉肇、村山総合支庁森林整備課長 土屋隆一（留任）、最上総合支庁森林整備課長 片桐政和、置賜総合支庁森林整備課長 小関秀章、庄内総合支庁森林整備課長 菅原隆志らが主な幹部職員です。

各地域の木材担当窓口を紹介します。

【県庁森林ノミクス課】課長補佐 山寄優、林産振興主査 高橋宏治、技師 藤田麻矢、技師 鏡美季

【村総森整課林産担当】課長補佐 菅井泰之、西山杉主査 齊藤和恵、主事 鈴木麻友

【最総森整課林産担当】課長補佐 鈴木雄大、主査 黒沼一徳

【置総森整課林産担当】課長補佐 森谷浩、林政主査 横倉斉

【庄総森整課林産担当】課長補佐 阿部正己、林政主査 芳賀高之、技師 新野亜依

また、県関係退職者ですが、梅津一寿 森林研究研修センター所長、大築和彦 置賜総合支庁森林整備課長、伊藤信 庄内総合支庁森林整備課長、柴田泉 置賜総合支庁森づくり推進室長の4名となっており、それぞれ新たな職場に赴かれます。

令和5年度第1回木材産業協同組合役員会開催 理事・監事の皆様

4月24日(月)15時～ メトロポリタン山形です。よろしくお願ひします。

3 県産木材利用に向け協定!

山形県(吉村美栄子知事)と山形県建築士会(伊藤彰会長)、山形県木材産業協同組合(松田賢理事長)は、県内の建築物における木材利用等を促進するための「木造建築物の設計・施工に係る人材育成等に関する木材利用促進協定」を締結しました。

県では、木材生産及び木材産業に関する高度な専門技術者の育成を図り、環境に配慮した森林資源の活用による地域の活性化により「やまがた森林ノミクス」の取り組みを加速化させることにしています。

今回の協定の構想は、木造建築物の設計・施工に係る人材育成及び木造建築物の普及活動等を推進することにより、山形県内の建築物の県産木材の利用を促進するものです。また、県産木材の安定供給を通じて森林資源の循環利用や木材利用を促進し、『ゼロカーボンやまがた2050』の実現に貢献することとしています。

達成に向けた取り組みの内容は、

- 中大規模木造建築セミナーなどを通じて、木造建築物の設計・施工に係る技術者の育成
- 県産木材製品の流通拡大
- 設計・施工事業者に対する県産木材製品などの情報提供
- 木造建築物の振興等に関する県の施策への協力
- 県を含めた三者による定期的な情報共有及び意見交換



となっています。構想の対象区域は山形県全域、協定期間は3月28日から令和7年3月31日とし、更新は可能としています。

【木産協としては】やまがた県産木材利用センターや山形県 JAS 製材連絡協議会、山形県プレカット協会、更には川上の山形県森林資源循環利用促進協議会等と連携しながら、県産木材製品の情報提供等を進めてまいります。

なお、例年のとおり 4月7日付けで「県産木材『やまがたの木』の認定事業者(98事業者)」の名簿等を、県及び市町村の建築・木材・商工関係者及び関係団体等に送付しPRを始めたところです。

4 『木の国やまがた』の魅力発信!

令和5年3月19日(日)、山形市長苗代の【アイタ材木店(展示場:倉庫)】において、「彩り豊かな広葉樹に囲まれた【木の国やまがたの広葉樹製品の魅力】」をテーマに展示会が開催されました。展示会には、約80名の方に来場いただくとともに、今回、モニターとして参加していただいた方から、今後の展示会に向けた貴重なご意見をいただきました。

【モニター意見】(女性建築士の皆様のご意見)

- ・フローリングや壁のオブジェ、本来の形でカウンター材に使ってみたい
- ・木の色も樹種によって違いがあり県産広葉樹が並んでいるところは圧巻
- ・クライアントへのメンテナンスやお手入れのアドバイス必要
- ・現地での状況(山)も見学できたらうれしい
- ・フローリングやカウンターに使って経年劣化を楽しんでみたい
- ・ユーザーが直接木の素晴らしさを体験できるイベントや見学会の企画を
- ・木の個性を活かした活用をデザインとしてもっと使うべき
- ・宣伝、県内外に広く。ただし、★金額の部分の検討も



5 木産協：第3回理事会開催

令和5年3月20日(月)、令和4年度第3回理事会を山形市(山形県産業創造支援センター多目的ホール)で開催いたしました。

令和4年度は、コロナ禍の影響も考慮しながら、通常の事業展開としており、10月には、3年ぶりの開催となる「山形県林業まつり」、全木連東北支部が担当となる「全国木材産業振興大会」などが開催され、そのような事業実績について検証を行っていただきました。

また、今年度は、木産協と事務局が1本化された「やまがた県産木材利用センター」関連業務と併せ、効率的な事業展開を目指してきたところですが、手探りの状態での事業展開となっており、各事業とも遅れ気味での執行となっている状況などをご説明したところです。

さらに、令和5年度の総会に向けた組織体制や役員の変更、新たに県と調整している木材利用関係の施策等についてご審議をいただいたところです。



6 緑の募金にご協力を!!

公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構から、令和5年度緑の募金活動への協力依頼がありました。春の募金期間は4月1日から5月31日までとなっています。緑の募金は身近な環境緑化から森林の整備、緑の普及啓発活動、森林環境学習など、さまざまな緑化活動に役立てられています。令和4年度緑の募金公募事業の実績や協力企業者等については、たよりに同封した募金チラシ等をご確認ください。



7 令和5年度県住宅支援制度情報!!

令和5年度住宅支援制度の案内パンフレット「やまがた住まいのガイドブック」が配布されました。詳細については、HPタテッカーナ(県建築住宅課)でも閲覧できますのでご確認ください。やまがた省エネ健康住宅新築支援事業は、4月5日から先着順200戸(補助金)となっています。

また、県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業は4月3日から先着順150戸(補助金)となっています。詳細は森林整備課まで。



8 4月以降の行事予定!!

日程	行事名	予定出席者
4. 12	全木連【事務局長会議】 Web開催	専務
4. 19	林災防【総会】 山形市(協同の杜)	専務
4. 24	木産協【役員会】 山形市(ホテルメトロポリタン山形)	理事長等

【新規会員紹介】

- 4月7日付けで、新庄市にある【榊柿崎工務所】が新規組合員として理事会で承認されました。管内素材生産業者と連携して県産木材の生産拡大に向けて事業展開を図るとのことです。

【火事お見舞い申し上げます】

- 3月29日(水)午後2時過ぎに、当組合員である【金山町森林組合】の事務所兼倉庫から出火し製材品が燃えるなど被害が発生しました。製材工場や木質バイオマス乾燥施設は被害がなかった模様ですが、1日も早い復旧をご祈念申し上げます。

●木産協からのお知らせ

【令和4年度山形県地域材利用拡大連携協議会開催】

当協議会においては、全国木材組合連合会から木産協が委託を受けた事業を中心に事業の検証・次年度の実施計画について協議をいただいています。

4年度は、JAS認証材等の利用拡大を図る「令和4年度JAS構造材実証支援事業」と国産材の振興と利用拡大を図る「令和4年度国産材転換支援緊急対策事業」となっており、品質が明確化されたJAS構造材等の利用拡大やウッドショック後の対応として国産材いわゆる「地域材の利用を拡大しウッド・チェンジ」を進めていくことを目的に事業展開した実績等をご説明し、事業評価を頂きながら、令和5年度の事業展開についてご意見を頂いたところ

です。引き続き、意見交換等においては、研究報告として、工業技術センターから【広葉樹材を家具・内装材として利用拡大するための技術開発】の紹介、地域材の利用拡大に向けた施策展開については、県：森林ノミクス推進課から①山形県の林業・木材産業に関する事業展開について、県建築住宅課から②令和5年度山形県住宅支援制度について情報提供をいただくと共に、アドバイザーからの今後に向けた助言・指導があったところです。



3月20日(月)13時30分から
産業創造支援センター多目的ホール



事業検証

●やまがた県産木材利用センターからのお知らせ

【令和4年度 やまがた県産木材利用センター 委員会連絡会開催】

今年度初めて開催した【委員会連絡会】においては、令和4年度事業の概況説明を行い評価していただくとともに、今後の効率的な事業展開を図るため、委員会の組織体制の見直しについて協議していただきました。

協議の結果、県産木材の県産木材の利用拡大に関する3つの委員会（やまがたの木を活かす建築を考える委員会、山形県産木材住まいづくり委員会、山形県産木材利用推進委員会）については、【一般流通材の具体的な活用を検討する木造建築ワーキング】と【各工務店が関係団体と連携して木造建築を進めるワーキング】の2つに集約して、各団体の**実務者レベルでの取り組みを進める方針**としました。なお、県産木材「やまがたの木」認証制度を支える【認証制度委員会】は、これまでとおり開催し、制度の検証や「やまがたの木」の新たな方向性を検討する場として残すこととしています。



3月30日(木)11時から
山形市 パレスグランデール

●トピック

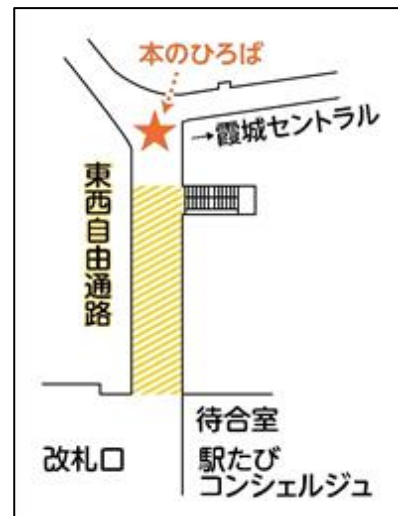
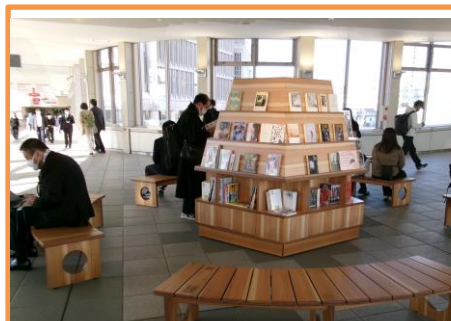
【県産材製品を始めて関西市場に出展】

榊相原木材では、大阪市梅田にある【阪神百貨店】において、3月29日から4月4日までの期間限定で、MOKUKA（木でできた花）等を中心とした製品の展示PRを行う【ポップアップストア】を開催したところです。会場では、MOKUKAを使ったワークショップも開催され、飛び入りのお客様も含め大盛況であったとのこと。



●山形市森林整備課からのお知らせ (資料：山形市森林整備課から提供いただきました)

●【山形駅東西自由通路に、気軽に本に親んでもらう「本のひろば」が設置されました。】



- ・常時100冊の本を用意
- ・本との出会いがつかる
おすすめ本の展示コーナー
- ・座ってゆっくり読める
サークルベンチ

本のひろばの書棚やベンチは、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村で使用された山形市産材(レガシー材)を再利用しています。

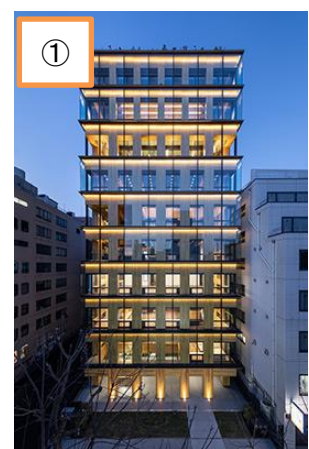
●【プレスリリース】「第26回木材活用コンクール」受賞作品の発表

●【受賞作品発表のお知らせ】(主催：日本木材青壮年団体連合会)

第26回目となる木材活用コンクールは、令和4年12月1日から令和5年1月15日まで作品を募集し、170作品の応募があり、その中から予備審査にて88作品を選出、令和5年3月11日(土)に開催した最終審査会において、受賞21作品が選出されました。

■①最優秀賞(農林水産大臣賞)は、『Port Plus 大林組横浜研修所』(株式会社大林組)


■②優秀賞((公財)日本住宅・木材技術センター理事長賞)は、
『シェルターインクルーシブプレイス コパル(山形市南部児童遊戯施設)』
(山形市、大西麻貴+百田有希/o+h、株式会社シェルター)



■③部門賞(第4部門賞)は、『Global Bowl』

(東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、パビリオン・トウキョウ2021実行委員会、ワタリウム美術館、平田晃久建築設計事務所、株式会社シェルター)

●国土交通省からのお知らせ



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和5年4月3日
住宅局住宅生産課
木造住宅振興室

令和5年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)及び 優良木造建築物等整備推進事業 提案募集の開始

～第Ⅰ期の公募は、本日から令和5年4月24日(月)までの期間で募集します～

国土交通省では、中高層・中大規模木造建築物の整備を促進するため、構造・防火及び生産システムの面で先導的な設計・施工技術を導入したプロジェクトや木造化の普及に資する優良なプロジェクトを支援することとしています。

事業者の皆様から広く提案を募るため、下記「2.募集概要」の通り、提案募集の期間を第Ⅰ期・第Ⅱ期に分けて、実施します。

1. 対象事業 (支援内容等の詳細については、別紙をご覧ください。)

(1) サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)[※]
構造・防火及び生産システムの面で先導的な設計・施工技術を導入したプロジェクト

(2) 優良木造建築物等整備推進事業
木造化の普及に資する優良なプロジェクト

※この他、CLT等新たな木質建築材料を用いた工法等による、建築実証と居住性等の実験を行う木造実験棟の整備についても公募します。

2. 募集概要

以下の第Ⅰ期・第Ⅱ期に分けて提案を募集します。

	募集期間		採択時期の目安
第Ⅰ期	令和5年4月3日(月)	～ 令和5年4月24日(月)	7月上旬頃
第Ⅱ期	令和5年6月30日(金)	～ 令和5年7月28日(金)	10月上旬頃

※ 第Ⅰ期と第Ⅱ期の応募状況等を踏まえ、第Ⅲ期を実施する場合があります。

※ 応募要件や応募方法等の詳細については、評価事務局HPに掲載された募集要領を参照ください。

【評価事務局】
令和5年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)及び優良木造建築物等整備推進事業
評価事務局 H P : <http://www.sendo-shien.jp/>

【参考】 令和5年過去の採択プロジェクト一覧は以下の URL より確認できます。
<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/mokuzou.top.html>

<問い合わせ先>
国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室 高梨・高橋
電話：03-5253-8111 (代表) 内線 39-413・39-455

●優良木造建築物等整備事業の【採択要件】⇒
(木造化の掛かり増し経費の3分の1の補助)

- ① 主要構造部に木材を一定以上使用するもの
- ② 建築基準上、耐火構造又は準耐火構造とすることが求められるもの
(共同住宅等：4階以上、非住宅：延べ面積1000㎡超又は3階以上に限る)
- ③ 不特定の者の利用又は特定多数の者の利用に供する用途のもの
(劇場、集会場、病院、ホテル、共同住宅、児童福祉施設等、学校、美術館、図書館、
百貨店、展示場、物販店舗、事務所 等)
- ④ 多数の利用者等に対する木造建築物等の普及啓発に関する取組がなされるもの

● 全木連からのお知らせ

事業者の
皆さまへ

ベストなオートリースプランで、
経営合理化を実現できます！



住友三井オートサービス

クルマを 所有しない 選択肢

いまやクルマも所有するモノから
使用するモノへ。



所有
から



使用
へ

いま、車の**リース**が増えています。

「財務・経理・管理」の3つの領域でお客さまの課題を解決します。
車両管理業務の一元化により、人的・資金的負担を軽減できます。

【要望がありましたらお問い合わせ願います】

- 全国木材協同組合連合会では共同事業の一環として、木材・木製品の製造・販売等の関連事業所（経営者、従業員等の個人を含む。）で使用される乗用車・トラック・フォークリフト等のリース契約を斡旋する事業を本年度も実施しております。一定の料金で自動車等を賃貸する仕組みで、所有権はリース会社にあります。購入した場合と同様に使用出来ます。メンテナンスリースの場合、保険・税金・維持費・管理費用（車検・整備等を含む）リース料の中に含まれています。

● 住宅着工状況 (2月期)

令和5年2月期の県内新設住宅着工戸数は322戸となり、対前月比105.9%、対前年同月比74.5%、対前年累計比は84.4%となった。県内では持家・貸家など回復への期待感はあるが現状維持で推移。地区別の前年比、累計比は県内全域で減少傾向。木造率は93.5%。

1 県内新設住宅着工戸数(令和5年2月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
2年	5,005	2,939	1,338	7	721	4,935	70	4,480	89.5%	3,259	87	1,134
3年	5,187	2,952	1,444	20	771	5,026	161	4,313	83.2%	3,273	70	970
4年	4,526	2,416	1,365	54	691	4,455	71	3,727	82.3%	2,774	62	891
04.1月	310	139	105	0	66	307	3	260	83.9%	180	9	71
2月	432	143	204	1	84	429	3	295	68.3%	184	1	110
3月	219	151	21	2	45	214	5	206	94.1%	161	6	39
4月	314	231	35	1	47	305	9	300	95.5%	248	8	44
5月	390	246	107	0	37	369	21	329	84.4%	282	4	43
6月	445	257	122	2	64	438	7	377	84.7%	283	4	90
7月	414	208	151	5	50	410	4	348	84.1%	260	2	86
8月	502	241	207	0	54	501	1	416	82.9%	288	6	122
9月	356	226	97	0	33	352	4	323	90.7%	226	3	94
10月	319	186	84	0	49	313	6	284	89.0%	210	9	65
11月	422	205	130	42	45	418	4	294	69.7%	215	4	75
12月	403	183	102	1	117	399	4	295	73.2%	237	6	52
05.1月	304	137	101	0	66	302	2	289	95.1%	181	7	101
2月	322	159	92	1	70	302	20	301	93.5%	172	7	122
対前月比	105.9%	116.1%	91.1%	-	106.1%	100.0%	1000.0%	104.2%	-	95.0%	100.0%	120.8%
対前年同月比	74.5%	111.2%	45.1%	100.0%	83.3%	70.4%	666.7%	102.0%	-	93.5%	700.0%	110.9%
04.1~当月計	742	282	309	1	150	736	6	555	74.8%	364	10	181
05.1~当月計	626	296	193	1	136	604	22	590	94.2%	353	14	223
対累計前年比	84.4%	105.0%	62.5%	100.0%	90.7%	82.1%	366.7%	106.3%	-	97.0%	140.0%	123.2%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和5年2月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	322	626	74.5%	84.4%	590
山形市	120	199	64.2%	60.7%	191
上山市	3	12	12.5%	48.0%	10
天童市	28	52	133.3%	179.3%	38
山辺町	3	10	37.5%	125.0%	8
中山町	3	4	150.0%	133.3%	2
東南村山	157	277	64.9%	70.5%	249
寒河江市	33	42	660.0%	525.0%	41
河北町	16	19	1600.0%	950.0%	19
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	0	0	-	-	0
大江町	0	1	0.0%	33.3%	1
西村山	49	62	544.4%	476.9%	61
村山市	4	6	66.7%	66.7%	6
東根市	26	91	50.0%	79.1%	90
尾花沢市	0	11	-	-	11
大石田町	0	0	0.0%	0.0%	-
北村山	30	108	50.8%	85.7%	107
村山地域	236	447	76.1%	84.0%	417
新庄市	2	15	8.0%	39.5%	15
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	10	-	-	10
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	0	0	-	-	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	1	1	-	-	1
鮭川村	1	1	-	-	1
戸沢村	0	0	-	-	0
最上地域	4	27	16.0%	71.1%	27
米沢市	11	41	84.6%	215.8%	40
南陽市	2	3	66.7%	100.0%	3
高島町	2	6	100.0%	120.0%	5
川西町	3	3	-	300.0%	3
東南置賜	18	53	100.0%	189.3%	51
長井市	0	0	0.0%	0.0%	0
小国町	0	0	0.0%	0.0%	0
白鷹町	0	1	0.0%	50.0%	1
飯豊町	1	1	100.0%	100.0%	0
西置賜	1	2	3.7%	6.1%	1
置賜地域	19	55	42.2%	90.2%	52
鶴岡市	28	45	175.0%	93.8%	44
三川町	0	0	0.0%	0.0%	0
庄内町	5	8	166.7%	114.3%	8
田川	33	53	165.0%	94.6%	52
酒田市	30	41	93.8%	75.9%	39
遊佐町	0	3	-	300.0%	3
飽海	30	44	93.8%	80.0%	42
庄内地域	63	97	121.2%	87.4%	94

注:累計は令和5年1月~